

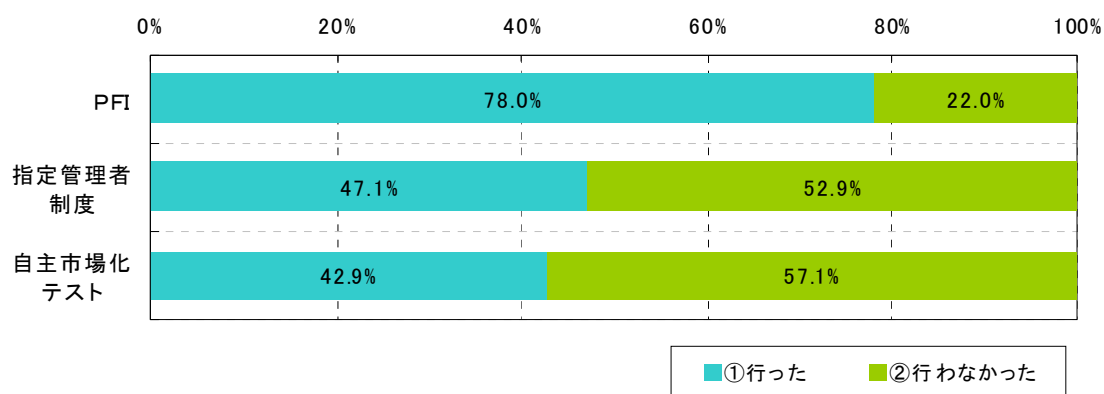
⑤ 応募者との意見交換

- 委託内容検討時に応募者との意見交換を行っているとした事業の割合は、PFI が他の2制度と比べて高かった。

【アンケート結果】

ア 応募者等との意見交換の有無（委託内容検討時）

- ・ PFI では、「応募者との意見交換を行っている」とした事業が 78.0%となった。
- ・ 指定管理者制度及び自主市場化テストでは、意見交換を行っていない割合のほうが高く、「応募者との意見交換を行っている」とした事業は指定管理者制度は 47.1%、自主市場化テストは 42.9%となった。



(回答事業数 PFI:100、指定管理者制度:34、市場化テスト:7)

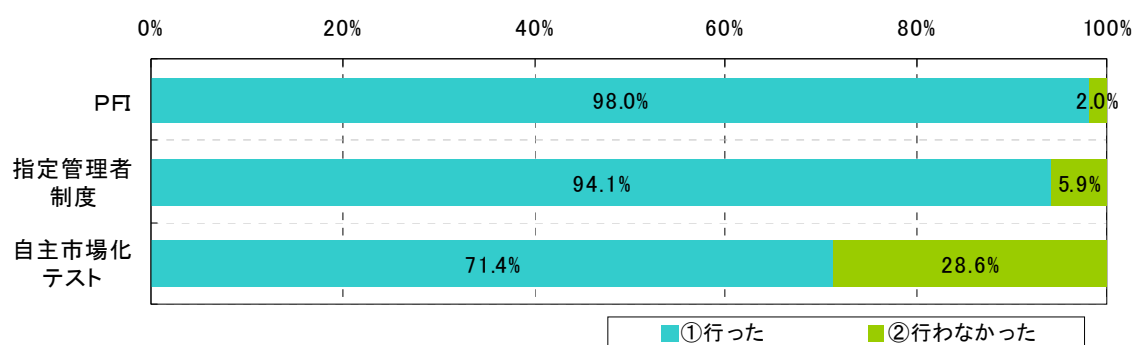
⑥ リスク分担

- リスク分担について、「事前に検討を行った」とした事業の割合は、PFI、指定管理者制度において高かった。
- 検討の内容としては、各制度とも、「分担を明示した」との回答が多かったが、PFI においては、その他「リスクの抽出・把握」、「リスクの定量化」、「外部意見の反映」、「対応策の検討」について取り組んでいる事業が多かった。

【アンケート結果】

ア 事業期間中に問題が発生した場合の責任の所在（PFI というリスク分担）の事前検討の実施

- ・ PFI、指定管理者制度では、「事前に検討を行った」との回答がほとんどであり、PFIは 98.0%、指定管理者制度は 94.1%となったが、自主市場化テストでは 71.4%にとどまった。

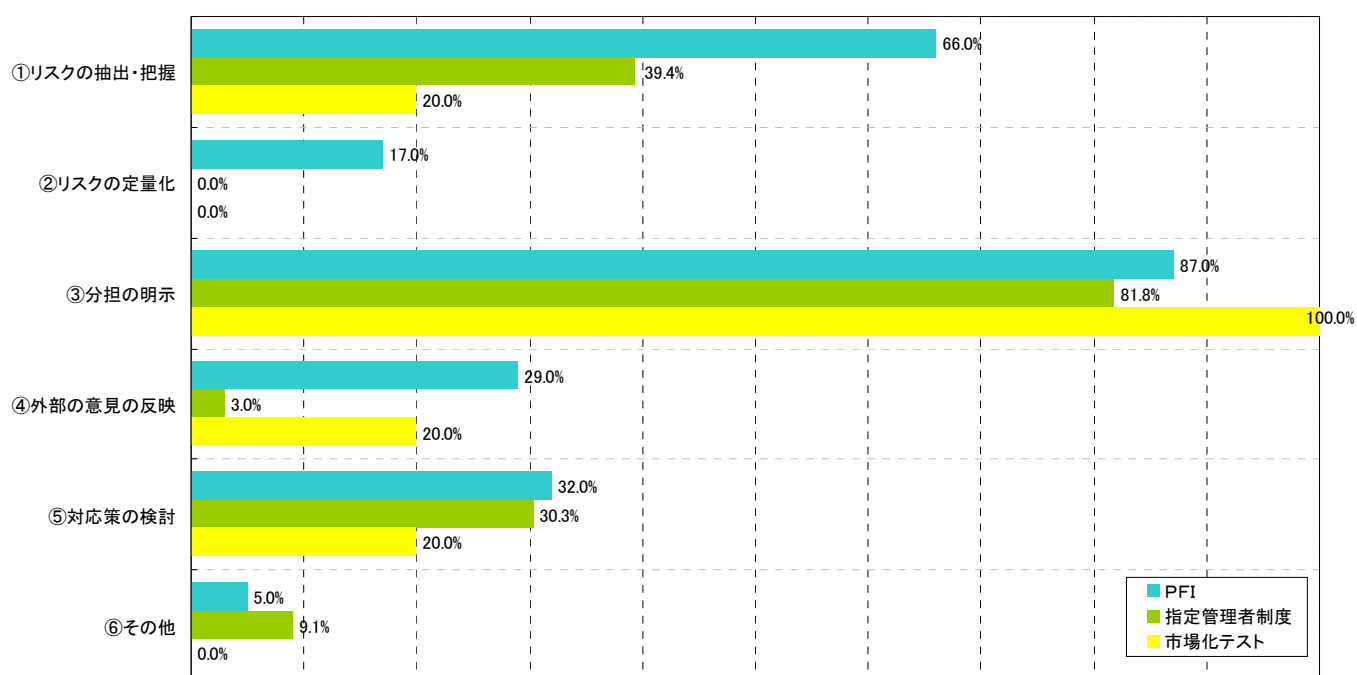


(回答事業数 PFI: 102、指定管理者制度: 34、市場化テスト: 7)

イ 問題が発生した場合の責任の所在（PFI というリスク分担）の事前検討で注意した点

〔複数回答・自由回答・割合は回答があった先の数に対する割合〕

- ・ PFI では、「分担の明示」が 87.0%、「リスクの抽出・把握」が 66.0%、「対応策の検討」が 32.0%「外部意見の反映」が 29.0%と様々な点が挙げられている。
- ・ 指定管理者制度では、「分担の明示」が 81.8%、「リスクの抽出・把握」が 39.4%、「対応策の検討」が 30.3%の順となった。
- ・ 自主市場化テストでは、「分担の明示」が 100.0%となった。

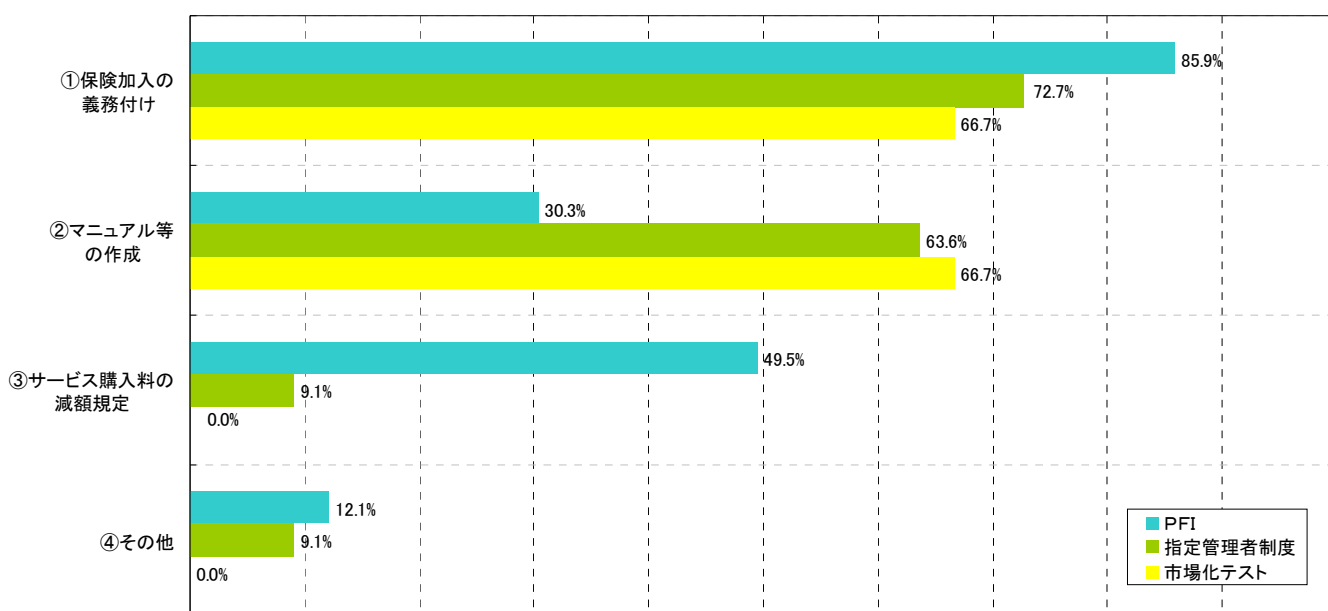


（回答事業数 PFI: 100、指定管理者制度: 33、市場化テスト: 5）

ウ リスクの顕在化抑制、顕在化の場合の影響の最小化のために採用した方策

〔複数回答・自由回答・割合は回答があった先の数に対する割合〕

- ・ PFI では、「保険加入の義務付け」が 85.9%、「サービス購入料の減額規定」が 49.5%、「マニュアル等の作成」が 30.3%の順となった。
- ・ 指定管理者制度では、「保険加入の義務付け」が 72.7%、「マニュアル等の作成」が 63.6%の順となった。
- ・ 自主市場化テストでは、「保険加入の義務付け」と「マニュアル等の作成」が 66.7%となった。



(回答事業数 PFI:99、指定管理者制度:33、市場化テスト:3)

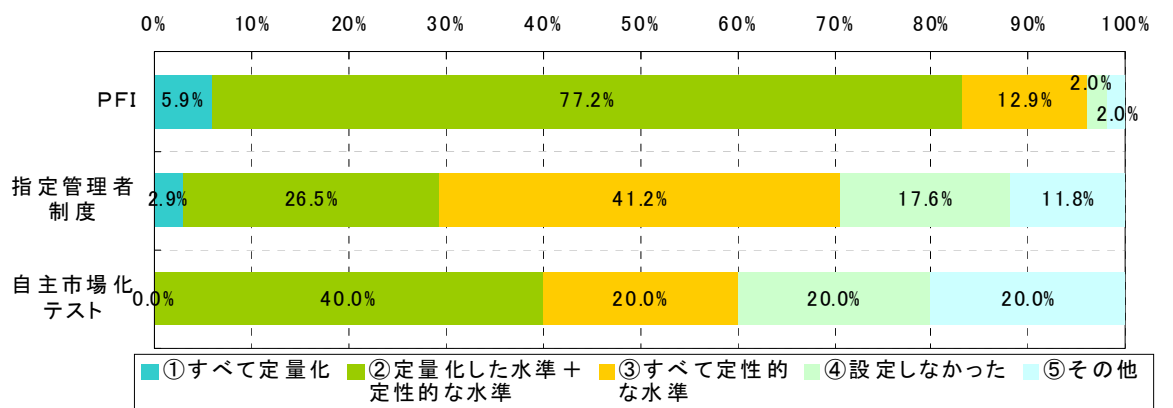
⑦ 要求水準の設定

- 要求水準の設定方法について、PFI においては、「全て定量化した」又は「定量化した水準と定性的な水準をあわせて設定した」とした事業が多かった。

【アンケート結果】

ア 要求水準（業務の実施において求められるサービスの質）の設定方法

・PFI、自主市場化テストでは、「定量化した水準と定性的な水準をあわせて設定する」という回答が多く、それぞれ 77.2%、40.0%となった。指定管理者制度では、「全て定性的な水準とする」という回答が最も多く、41.2%となった。



(回答事業数 PFI: 101、指定管理者制度: 34、市場化テスト: 5)

3. 受託者選定段階

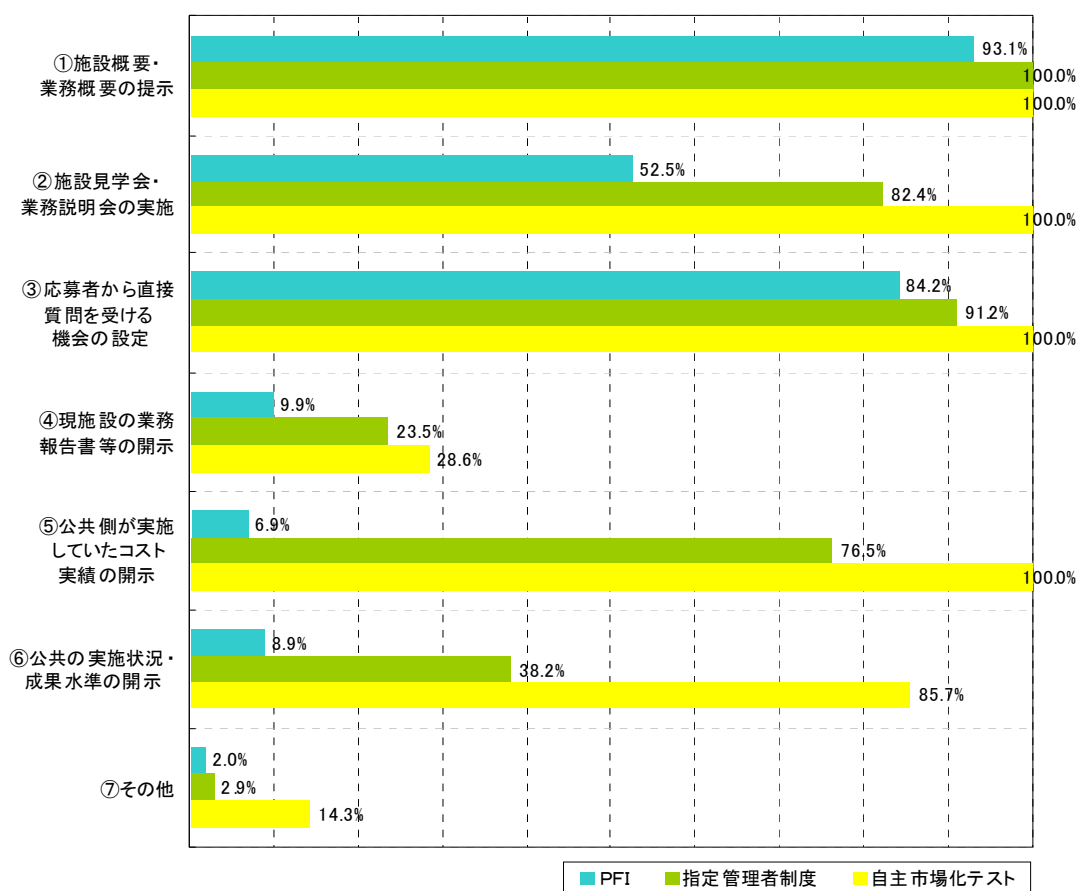
① 応募者に対する情報提供

- 各制度とも「施設概要・業務内容の提示」、「応募者との質疑応答」を行っている事業の割合が高いが、「施設見学会・業務」、「公共の実施概要・成果水準の開示」については、新規に施設整備を行う事業が多いPFIでは、実施したとする事業の割合が低かった。

【アンケート結果】

ア 応募者に対する情報提供の方法

- ・ PFIでは、施設概要・業務内容の提示によって情報提供を実施しているとの回答が多く、93.1%となった。
- ・ 指定管理者制度では、回答があったすべての事業で、施設概要・業務内容の提示によって情報提供を実施している。
- ・ 自主市場化テストでは、回答があったすべての事業で、施設概要・業務内容の提示によって情報提供、説明会の開催、質問機会の設定、行政側のコスト実績の開示を行っている。



(回答事業数 PFI:101、指定管理者制度:34、市場化テスト:7)

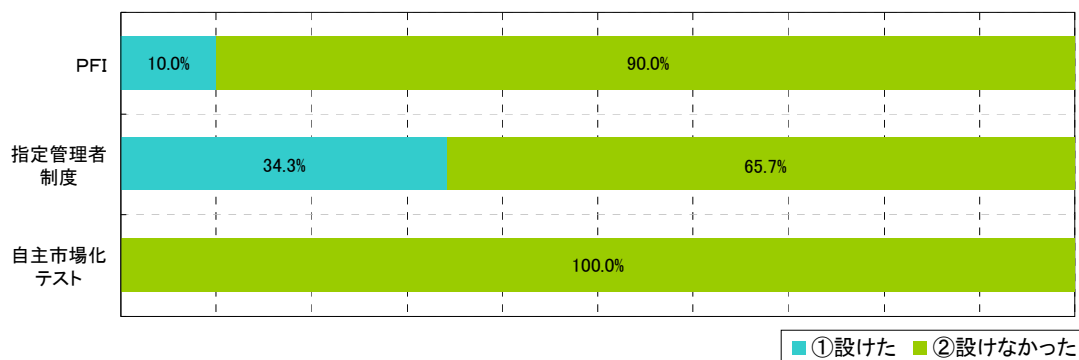
② 住民参加

- 受託者選定時において住民参加機会を設けたとした事業の割合は、指定管理者制度において高かった。

【アンケート結果】

ア 住民参加の有無（受託者選定時）

- ・ PFI では、「住民参加機会を設けた」という回答は少なく、10.0%となった。
- ・ 指定管理者制度では、「住民参加機会を設けた」という回答が 34.3%となった。
- ・ 自主市場化テストでは、「住民参加機会を設けた」とした回答はなかった。



(回答事業数 PFI:100、指定管理者制度:35、市場化テスト:7)

4. 事業実施段階

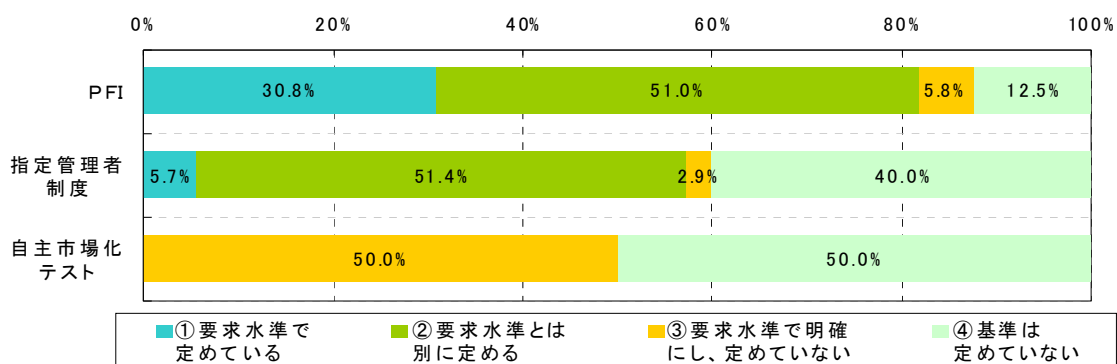
① モニタリング基準の設定

- モニタリング基準の設定について、「要求水準の中で定めている」「要求水準とは別に定める」等、何らかの方法で定めている事業の割合は、PFI が高かった。
- モニタリングを行う際の基準を定める際に留意した点について、PFI では、「数量化を心がけた」との回答が多く、指定管理者制度では、「先行事例や類似事例で用いられている基準を参考とした」との回答が多かった。
- PFI、指定管理者制度ともに、モニタリング内容の検討に住民はほとんど参加させていない。また、学識経験者から意見を聴取している事業の割合は PFI 及び指定管理者制度では低かった。
- 学識経験者からの意見聴取方法については、PFI、指定管理者制度とも「審査委員会を通じた」との回答が多かった。

【アンケート結果】

ア モニタリングを行う際の基準の設定方法

- ・ PFI では、「要求水準と別に定める」が 51.0%、「要求水準の中で定めている」が 30.8%となり、何らかの方法で設定している事業がほとんどである。
- ・ 指定管理者制度では、「要求水準とは別に定める」という回答が 51.4%と最も多いが、「基準を定めていない」という回答も 40.0%あった。
- ・ 自主市場化テストでは、「要求水準の設定段階で明確にしたためモニタリングの基準を別途定めることはなかった」が 50.0%、「基準を定めていない」が 50.0%となった。

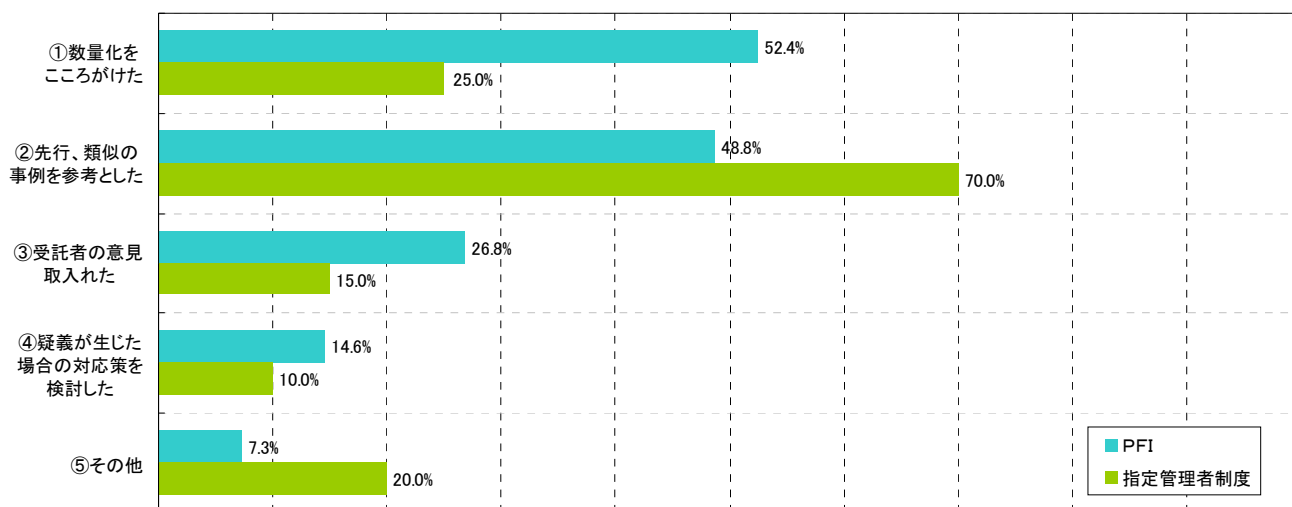


(回答事業数 PFI: 104、指定管理者制度: 35、市場化テスト: 6)

イ モニタリングを行う際の基準を定める際に留意した点

〔複数回答・割合は回答があった先の数に対する割合〕

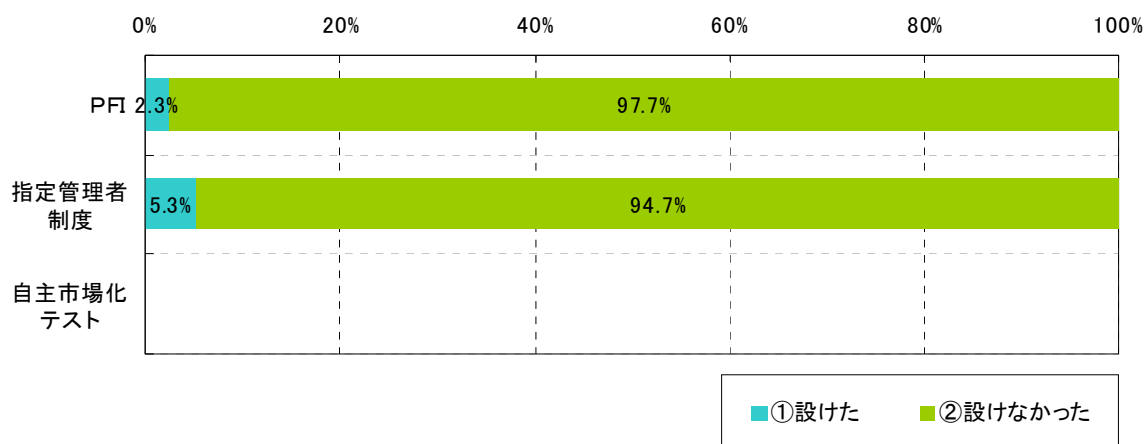
- ・ PFI では、「客観的な基準とするため、数量化するよう心がけた」が 52.4%、「先行事例や類似事例で用いられている基準を参考とした」が 48.8%の順となった。
- ・ 指定管理者制度では、「先行事例や類似事例で用いられている基準を参考とした」という回答が 70.0%となった。
- ・ 自主市場化テストについては回答がなかった。



(回答事業数 PFI: 82、指定管理者制度: 20、市場化テスト: 0)

ウ 住民参加機会の有無（モニタリング基準設定時）

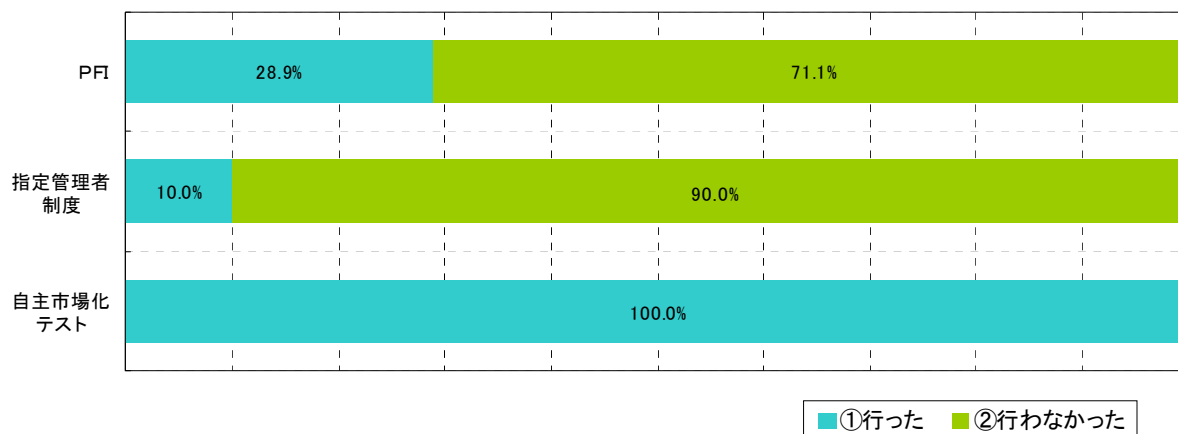
- ・ PFI、指定管理者制度では、「モニタリングの基準設定時に住民を参加させている」との回答は非常に少なく、それぞれ 2.3%、5.3%となった。
- ・ 自主市場化テストについては回答がなかった。



(回答事業数 PFI: 86、指定管理者制度: 19、市場化テスト: 0)

エ モニタリング内容の検討における学識経験者からの意見聴取の実施

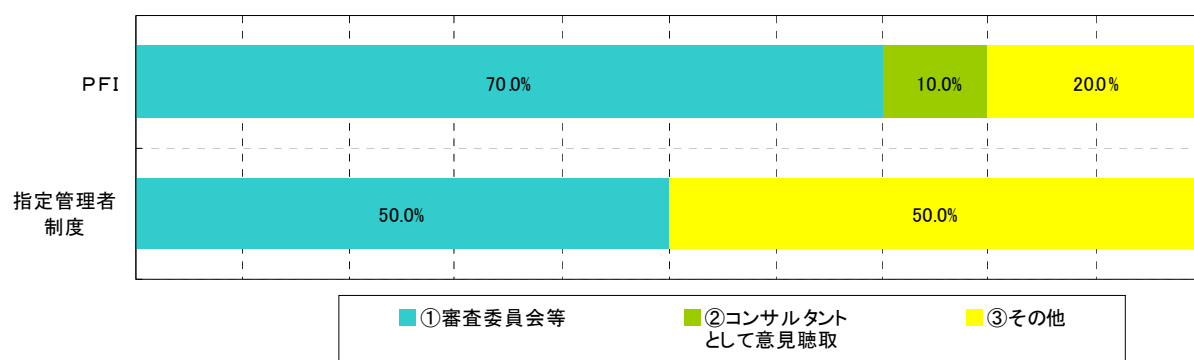
- ・ モニタリング内容の検討にあたって学識経験者から意見聴取をした事業の割合は、PFI では28.9%、指定管理者制度では10.0%と少ない。
- ・ 自主市場化テストについては、回答があったすべての事業で聴取を行っている。



(回答事業数 PFI:83、指定管理者制度:20、市場化テスト:2)

オ モニタリング内容の検討における学識経験者からの意見聴取の方法

- ・ PFI では、審査委員会等を通じて意見聴取を行った事業の割合が最も高く、70.0%となった。
- ・ 指定管理者制度では、審査委員会等を通じて意見聴取を行った事業の割合は50.0%となった。
- ・ 自主市場化テストについては、回答がなかった。



(回答事業数 PFI:20、指定管理者制度:2、市場化テスト:0)